

《最近の県内経済》 (2024年4月を中心として)

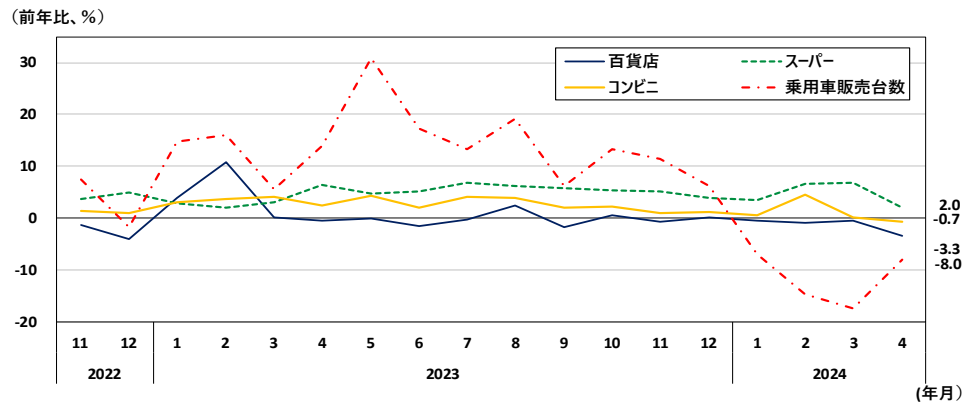
今月の概要

横ばいの動きとなっている。



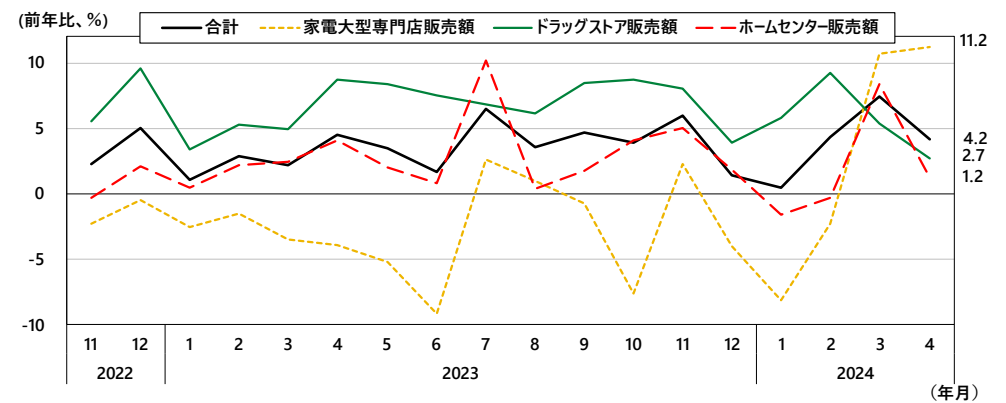
1 個人消費 ~横ばいの動きとなっている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、横ばいの動きとなっている。

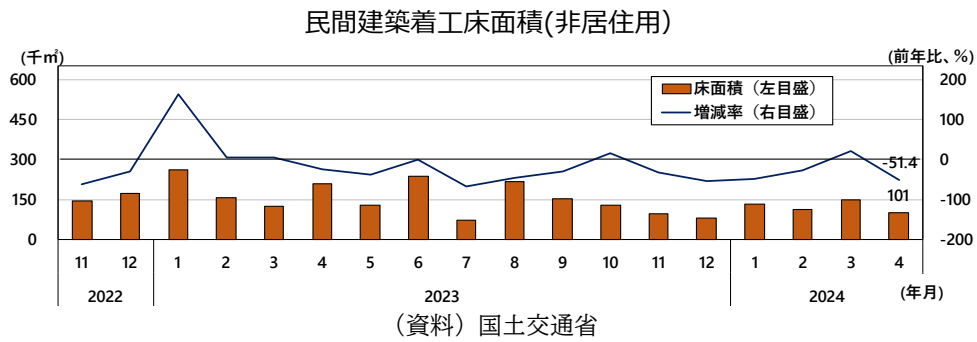
4月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は106億円で前年比3.3%減（4か月連続の減少）、スーパーは1,030億円で同2.0%増（19か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は555億円で同0.7%減と30か月ぶりの減少となった。

また、乗用車販売は、前年比8.0%減と4か月連続の減少となった。マイナス幅は減少したものの、依然として認証試験不正による出荷停止の影響などが続いている。内訳をみると、普通車が同比2.8%増（3か月ぶりの増加）となったものの、小型車が同比13.8%減（8か月連続の減少）、軽乗用車が同比18.3%減（6か月連続の減少）となった。

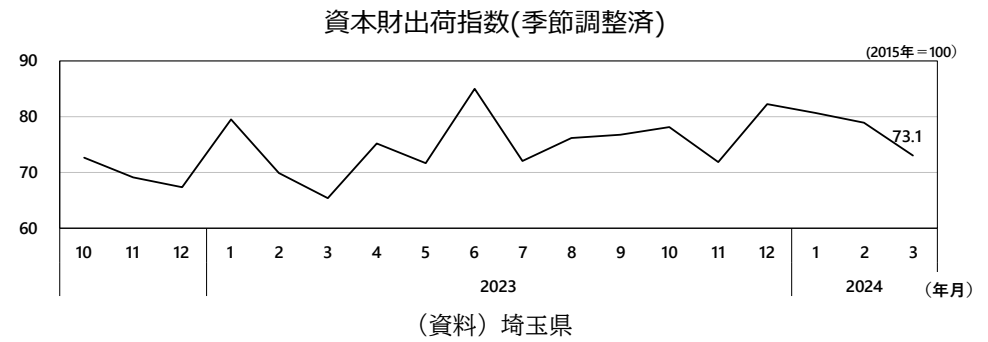
4月の専門量販店販売額は、795億円で前年比4.2%増と20か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が187億円で同11.2%増（2か月連続の増加）、ドラッグストアが412億円で同2.7%増（23か月連続の増加）、ホームセンターが196億円で同1.2%増（2か月連続の増加）といずれも増加となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、3月〈40.7〉、4月〈39.2〉、5月〈37.5〉と推移している。

2 設備投資 ~投資計画は強いものの、足元弱含んでいる 前月比

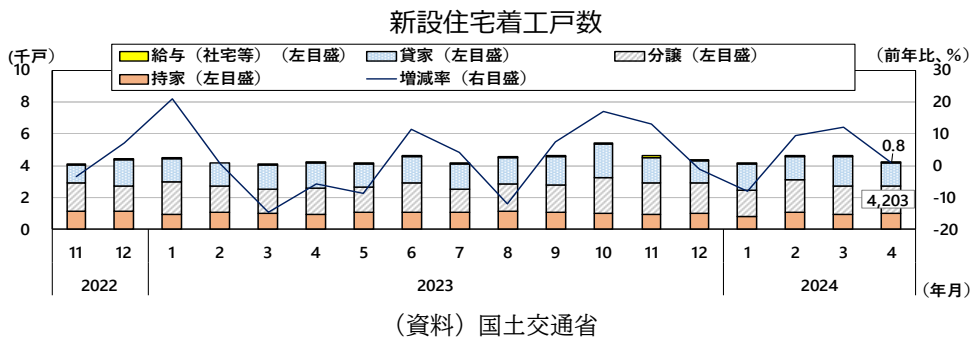


4月の民間建築着工床面積（非居住用）は、101千㎡で前年比51.4%減と2か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均でも前年比37.5%減）。用途別にみると、事務所、工場及び作業場は増加したものの、店舗、倉庫、学校の校舎、病院・診療所はいずれも減少した。



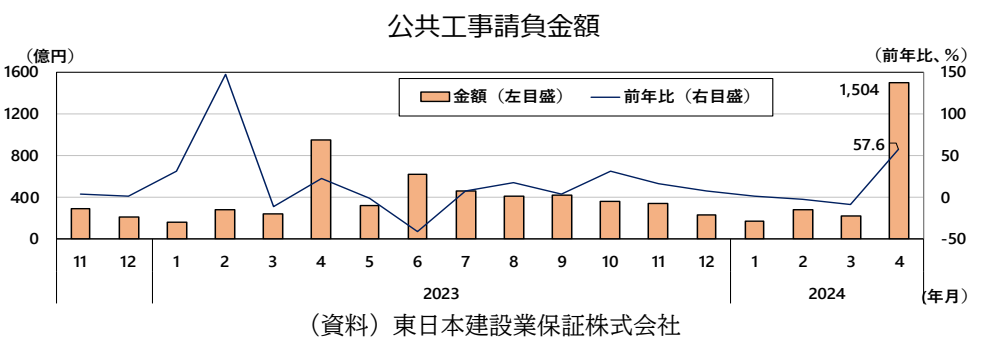
3月の資本財出荷指数（季節調整済）は73.1で、前月比7.5%減と3か月連続の減少となった（5か月後方移動平均でも、前年比1.0%減少）。当研究所が昨年8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している（全産業前年比+8.8%）。

3 住宅建設 ~一進一退 前月比



4月の新設住宅着工戸数は、4,203戸で前年比0.8%増と3か月連続の増加となった（5か月後方移動平均でも2.5%増）。利用関係別にみると、貸家（1,436戸）が前年比8.9%減、分譲一戸建て（1,220戸）が同10.0%減となったものの、持家（1,034戸）が同7.3%増、分譲マンション（505戸）が同92.0%増加した。

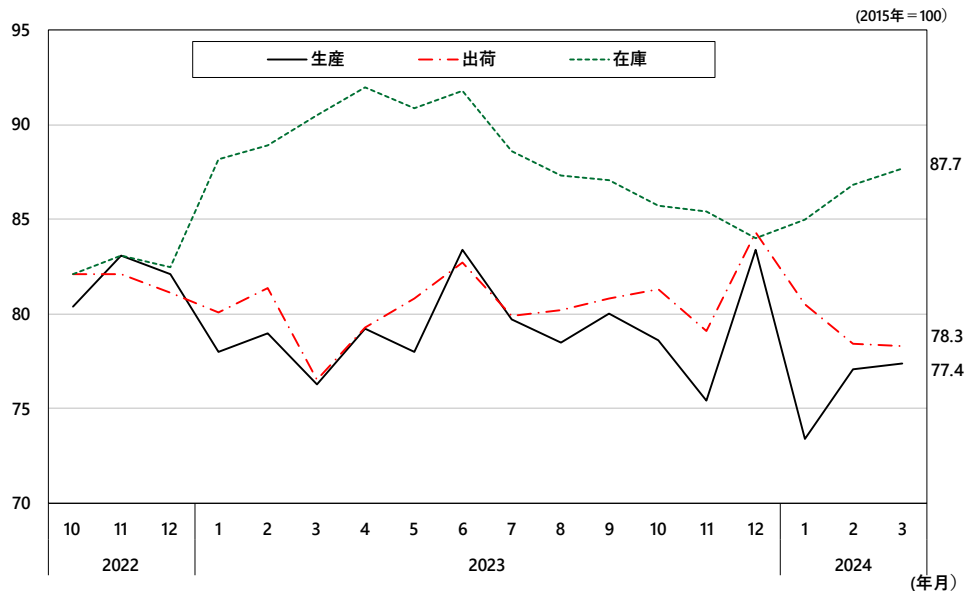
4 公共工事 ~底堅く推移している 前月比



4月の公共工事請負額は1,504億円、前年比57.6%増となった（3か月ぶりの増加）。5か月後方移動平均でも前年比29.1%増で推移。発注者別の前年比をみると、国は横ばいに推移したものの、独立行政法人等、都道府県、市区町村は増加した。

5 生産活動 ~弱含んでいる 前月比

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



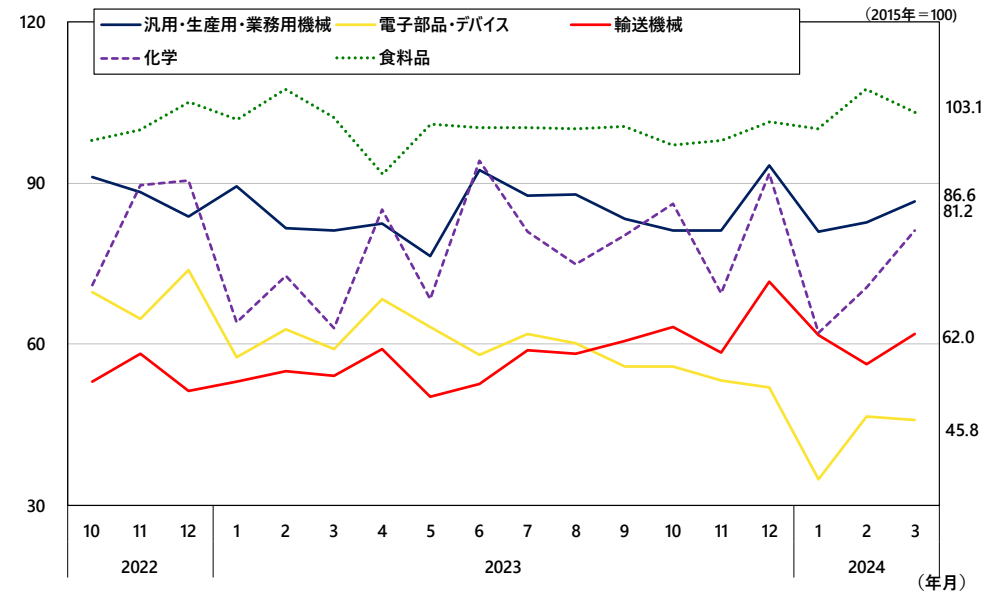
(資料) 埼玉県

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、77.4で前月比0.4%上昇した(2か月連続の上昇)。食料品(炭酸飲料、洋生菓子)、電気機械(電力変換装置、その他の電子応用装置)などが低下したが、化学(医薬品、化粧品)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが上昇した。

出荷指数(同)は、78.3で同0.1%低下した(3か月連続の低下)。化学(医薬品、化粧品)、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)など上昇したが、食料品(炭酸飲料、洋生菓子)、生産用機械(半導体製造装置、研削盤)などが低下した。

在庫指数(同)は、87.7で同1.0%上昇した(3か月連続の上昇)。電気機械(鉛蓄電池、クッキングヒーター)、汎用機械(ポンプ、圧縮機)などが低下したが、生産用機械(マシニングセンタ、整地機械)、輸送機械(乗用車、完成自転車)などが上昇した。

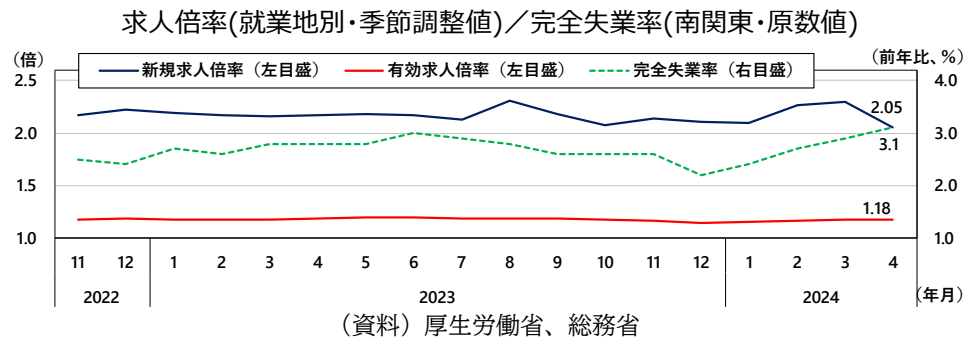
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

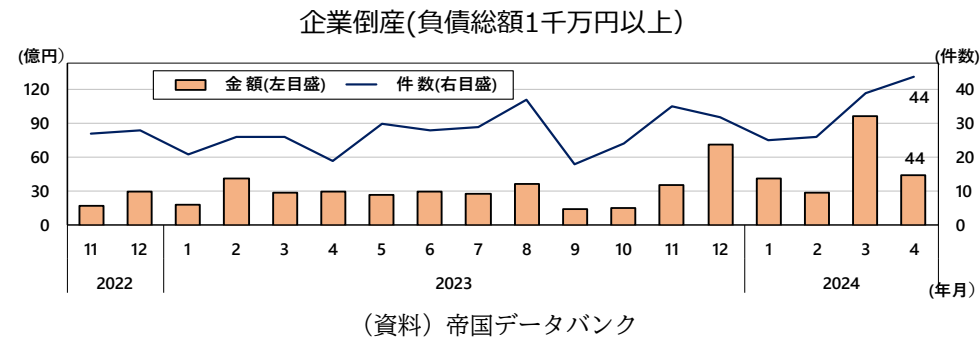
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、103.1で前月比4.0%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、86.6で同4.6%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、45.8で同1.7%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、62.0で同10.3%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、81.2で同15.2%上昇し、2か月連続の上昇となった。

6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ⇒ 前月比



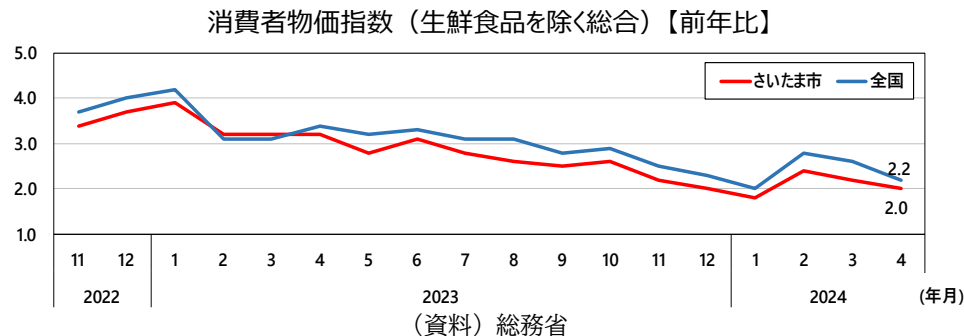
4月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.18倍で前月比横ばい。また、新規求人倍率(同)は、2.05倍で前月比0.25%低下した(3か月ぶりの低下)。完全失業率(南関東、原数値)は、3.1%で前年同月比0.3%上昇した(前年同月比3か月連続の上昇)。

7 企業倒産 ~増加傾向にある ⇒ 前月比



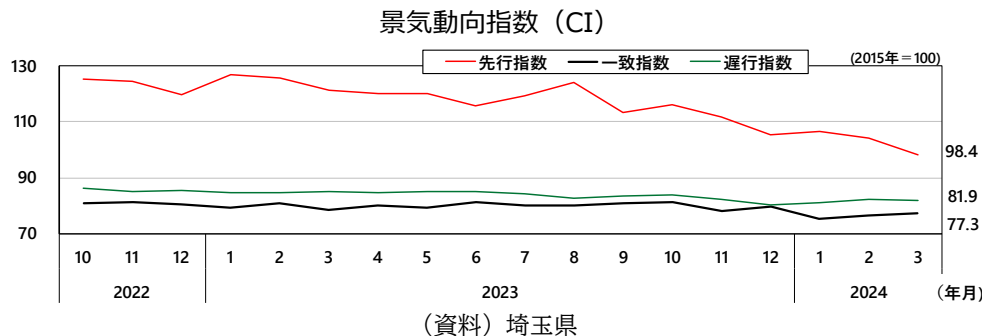
4月の企業倒産件数は44件で前年同月比25件の増加となった。また、負債総額は44億円で同比14億円の増加となった(5か月移動平均でも、件数は前年比9件の増加、負債総額は同比26億円の増加)。業種別にみると、建設業が最多で12件、次いで製造業が8件、サービス業が7件となっている。主因別では、販売不振が39件となっている。

8 消費者物価 ~上昇率が高止まりしている ⇒ 前月比



4月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、106.4で前年同月比2.0%上昇した(31か月連続の前年同月比上昇)。光熱・水道(ガス代など)は下落したものの、教養娯楽(旅行費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ~足踏みを示している ⇒ 前月比



- 3月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、77.3で前月比1.0%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、98.4で同6.0%下降し、2か月連続の下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、81.9で同0.4%下降し、3か月ぶりの下降となった。